

# ウズベキスタン共和国

ウズベキスタン共和国は中央アジアの中心に位置する内陸国です。

国土は日本の1.2倍、中央アジア最大の人口（約3,600万人）を有しています。平均年齢は29歳と若く、人口の65%以上が生産年齢人口であり大きな潜在成長力を秘めています。近年進められている経済システムの自由化により同国経済は力強い成長を遂げており、2024年の実質GDP成長率は6.5%です。また、投資環境の改善により、外国資本の投資も活発化しています。

持続的成長が期待されるウズベキスタン経済において、教育産業は一層の市場拡大が期待される分野です。高等教育レベルでは10年前は約8%だった就学率は2023年に約41%に達し、学生数、学校数、共に約4倍に増加しています。大都市のみならず、地方においても子女教育に関心を持つ中産階級が増加しており、様々な選択肢の中で、教育ビジネス事業者の間では日本の教育に対する関心も高まっています。

今回のイベントでは、ウズベキスタンの最新ビジネス情報をご紹介しますとともに、UJCで学んだ教育関連企業経営者10社10名と、ご参加頂く皆様とのビジネス交流の機会を提供します。

## 【昨年実施したビジネス交流会の様子】



## 【参加された企業の声の一部】

- 情報の少ないウズベキスタン経済・ビジネス環境についての最新情報を得る事が出来た
- 今後、継続的にやり取りが出来る企業との出会いがあった
- 通訳のレベルが高くあらゆる話題に対応頂いた（日本語しか話せなくても大丈夫）



## 左：【首都 タシケント中心部】

近年の経済成長により、首都には近代的なホテル・ビジネスビルが建ち始めており、古代と近代が混在している。

## 右：【第二の都市 サマルカンド】

古来より「シルクロード交易の要衝」、「文化交差路」として栄える。2001年に世界遺産に認定。